

令和2年11月16日(月) No.453



グリットを高め いつも仲間とともに 夢のある学校

里中だより

川口市立里中学校
川口市里621番地
TEL 048-282-5708
さわやか相談室 284-1010
1年202名 2年212名 3年176名
<http://www.sato-chu.com/>

グリット（やり抜く力）を発揮した生徒（運動編）

校長 荻上 晃司

木々の葉が少しずつ色づき、秋の深まりを感じる季節になりました。朝晩は冷え込む日が多くなりましたので、健康管理にご留意ください。10月17日の土曜授業参観には、新型コロナウイルス対策として出席番号ごとに公開時間を限定させていただいたにもかかわらず、多くの保護者の皆様にご来校いただき、授業の様子を参観していただきました。ありがとうございます。今後も教職員一同、生徒の主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでまいります。

さて、9月1日に実施した放送による始業式の校長講話では、2学期も新たな目標に向かってやり抜き、一人ひとりが成長できる2学期にしてほしいと伝えました。2学期も後半に入りましたが、未だ教育活動の制限が続く中、コロナウイルスを言い訳にせず運動面でグリットを発揮した生徒の活躍を紹介します。

川口市中学校駅伝競走大会の中止に伴い、その代替として10月22日(木)に川口市中学校長距離記録会が青木町公園陸上競技場で開催されました。学校ごとに予め指定された時間に選手が一斉にスタートし、男子は上位6名、女子は上位5名のタイムを合計して男女別に順位が決まります。8月1日に学校を代表する駅伝部(学年、部活動の枠を超えて構成)を結成し、特に3年生にとっては、7月に部活動を引退した後、受験勉強と両立させながら苦しい練習に取り組んできました。駅伝部顧問の梅内教諭は、3年生に新人戦の中止が決定し駅伝競走大会の開催も危ぶまれていた8月と、駅伝競走大会も中止となりその代替大会が実施されるかわからなかった9月に、このまま練習を続けるか問いかけたそうです。それでも1・2年生の精神的な支えの役割も担っている3年生は、口に出せない苦しみを胸に抑えながら最後までやり抜きました。

残念ながら入賞には届きませんでしたが、学校のため、仲間のため、応援してくれるすべての人のために里中代表のプライドを持って責任を果たした駅伝部の選手一人ひとりのこれまでの努力に心から敬意を表したいと思います。

記録会終了後に聞いた3年生の思いを掲載します。(一部抜粋)

【3年1組 サッカー部 君】

1・2年生が一生懸命練習している姿を見て、最高学年として駅伝部を引っ張っていくために誰よりも練習しようと思決意し、毎日走り続けました。今年は、駅伝競走大会が中止となり、いつもと全く違う大会形式になったにもかかわらず1・2年生は文句も言わず、むしろいつも楽しそうに練習していて、いつも元気ももらっていました。1・2年生には来年も頑張してほしいと思います。先生方に応援していただいたり、友達が声をかけてくれてとても励みになりました。ありがとうございました。

【3年4組 サッカー部 君】

辛く厳しい練習が3カ月間続きました。私にとって、大会当日までチーム全員でしっかりと走り切れたことが一番うれしかったことです。大会が実施されるかわからない中、3年生が途中で諦めることなく駅伝部を引っ張り、1・2年生に最上級生としてあるべき姿を見せることができました。大会当日までやり切れたのは、顧問の先生の指導や先生方、友達の応援があったからだと思っています。ありがとうございました。

【3年5組 女子バスケットボール部 さん】

同じ目標に向かって一緒に頑張れるメンバーがいたからこそ、この3カ月間辛い練習もやり切ることができました。大会が実施されるかわからない状況で、3年生女子は部員が一人ということもあり駅伝部に参加することを迷ったこともありましたが、挑戦して良かったと思っています。3年間、駅伝部として活動できて達成感を感じています。支えてくださった先生方、ありがとうございました。

生徒の皆さんには、コロナ禍においても学習や部活動、委員会・係活動などに主体性を持って挑戦してほしいと願っています。12月号では、学習面でグリットを発揮している生徒の活躍を紹介する予定です。